

沼津高専同窓会だより

第14号

ALUMNI BULLETIN OF NUMAZU COLLEGE OF TECHNOLOGY

平成6年2月発行

沼津工業高等専門学校同窓会 発行責任者/木ノ内倫弘

〒410 沼津市大岡 3600 (沼津工業高等専門学校内)

TEL 0559-21-2700 郵便振替 00120-9-102151

総会開催にあたって

会長 木ノ内 倫弘

本日はご多忙な中を、工藤校長先生をはじめ、恩師の皆様、多数の会員の皆様に御出席していただき、ありがとうございます。

わが沼津高専同窓会も会員数四千名を数える程大きく成長致しました。そして会員諸兄におかれましては中堅の技術者として、或は管理職・経営者・教職・研究職等それぞれの分野において立派に活躍されております。母校沼津高専を始め、各企業においても高専出身者の力は確実に強く大きくなっており、まことに頼もしい限りであります。これはひとえに会員各位の人からは勿論、持って生まれた素質を努力によって十分に発揮されておる結果と思われまふ。このすばらしい人達の集まりである沼津高専同窓会総会を、本日ここに開催することができました。うれしいことでございます。特に今回は趣向を変えて静岡で開催しました。二年に一度の総会でございます。審議内容は別途提案されますが、今回の目玉として名簿の発行がございます。十分な審議をお願い致します。また総会後の懇談会では御出席いただきました恩師の皆様方と親しく旧交を温めていただきたいと思います。

最後に今回の総会開催に当たり絶大なる御協力をしていただきました静岡在住の会員諸兄各位に厚く御礼申し上げます。今後共同窓会活動への御理解と御協力をよろしくお願い致します。

総会報告

事務長 坂井 徳尚



平成5年11月14日(日)静岡駅前の日興会館において、平成5年度同窓会総会が開催されました。

総会は午後3時半より、仁科副会長の司会による開会の辞に始まり、木ノ内会長のあいさつの後、議長鈴木氏(M2)、副議長高見氏(E4)、書記大畑氏(E27)が選出され、議事に入りました。平成3年度、4年度事業報告ならびに会計報告の後、質疑応答をへて決算報告は承認されました。さらに、平成6年度、7年度の三役は現三役の留任ということで承認されました。続いて、平成5年度、6年度の活動方針・予算案が提出され、それぞれ承認されました。すべての議事は終了し、議長団は解任され、総会は閉会されました。

引き続き、隣室に設営されました懇談会会場に移り、清水氏(M2)の司会により懇談会が開会されました。

名誉会長の工藤校長はじめ、たくさんの来賓、教職員の方々にスピーチなどをいただき、楽しい歓談のひとつを過ごすことができました。そのなかで本年度定年退官されます三ツ井先生、大橋先生の元気なお姿が見られました。

最後になりましたが、今回の総会は会場を静岡に設営した為、いつになく参加メンバーも、パーティーの雰囲気にも変化があり、盛況のうちに楽しく開催することができました。これも鈴木忠広氏（M2）、松永博彬氏（M2）をはじめとする静岡市周辺の1期生、2期生の方々の御協力のおかげです。この場を借りましてお礼申し上げます。ありがとうございました。

総会と名簿発行について

副会長 仁科和晴

同窓会の総会は、発足当初は高専の寮食堂 etc. で開き、その後何回か校外のブケ東海 etc. にて行ないました。

マンネリ化の傾向もあり、この辺で地域を変えてみようということになり、卒業生も多い静岡地区にて今回初めて開催しました。会場の手配や、この地区でのメンバーを集めてくれたOBには本当にお世話になりました。又、これにおつきあいいただいた校長先生並びに諸先生方もありがとうございました。

開催地が変わればそれなりに参加メンバーも異なり、その地域なりの特色も出せるように思いました。マンネリ化の問題はつきまとうので、今後はOBの多い地域でかわるがわる開き、時には学校でも開くというのがよいのか、又は業者に設営を依頼した形で、常時学校で開くのがよいのか、皆様の意見も聞かせて欲しいものです。

又内容についても、前回はOBの講演会を行ない、内容豊かな講演をしてもらいましたが、なかなか講演者も多忙の中大変であり、今回は見送りました。しかし多彩な産業分野で活躍中のOBの講演は興味深いものがあり、今後再び検討したいものです。

さて、5年に1度の名簿の発行を行なうわけですが、名簿の予約や購入をし忘れるOBも多く、又、予算的にも可能なことから、今回のみ全員に無料配付することに致しました。

平成3年度、平成4年度事業報告 及び平成5年度、平成6年度事業計画

同窓会の活動は、継続的なものが主体であり、次の項目となります。

年 度	H 3	H 4	H 5	H 6	H 7
	('91)	('92)	('93)	('94)	('95)
新入理事会	○ 5/17	○	○ 9/3	○	○
総会〔於沼津軒 ('91)〕 〔於日興会館 ('93)〕	○ 11/17		○ 11/14		○
講演会〔卒業生の講演〕 ・知的所有権最近の話題 ・人生と出会い	○ 11/17				
同窓会だより発行 会誌発行	○	○ 12号	○	○	○
母校創立30周年記念事業 〔於沼津市民文化センター〕		○ 11/11			
名簿発行 奨学金制度 発足'88/4以降'93/11までの間に半期授業料を14回支給			○		

平成3年度 運営会計収支決算書

拠出収入（自平成3年4月1日・至平成4年3月31日）

科 目	決 算 額	予 算 額	比 較 増 減
終 身 会 費	3,252,500	2,925,000	327,500
受 取 利 息	1,237,853	1,000,000	237,853
雑 収 入	3,000	5,000	△ 2,000
収 入 合 計	4,493,353	3,930,000	563,353

運営支出（自平成3年4月1日・至平成4年3月31日）

科 目	決 算 額	予 算 額	比 較 増 減
会 議 費	154,089	300,000	145,911
通 信 費	780,583	800,000	19,417
事 務 用 品 費	44,840	50,000	5,160
慶 弔 費	80,500	150,000	69,500
同窓会だより	176,130	200,000	23,870
印 刷 費	186,295	300,000	113,705
郵便振替料金	2,430	10,000	7,570
支部交付金	60,000	150,000	90,000
旅費交通費	35,190	100,000	64,810
名簿管理費	124,254	150,000	25,746
奨 学 金	150,000	150,000	0
総会懇談会 特別会計	349,678	300,000	△ 49,678
雑 費	12,084	50,000	37,916
予 備 費		1,220,000	1,220,000
本年度剰余金	2,337,280		△2,337,280
支 出 合 計	4,493,353	3,930,000	△563,353

平成3年度 貸借対照表

平成4年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	76,975	未拂金	60,000
郵便振替	270,960	前払金	4,180,000
郵便貯金	9,468,000		
銀行普通預金	4,054,231		
銀行定期預金	13,000,000	奨学金引当金	210,600
未収金	1,802,500	未収金引当金	1,802,500
什器備品	31,500	減価償却引当金	28,350
		剰余金	22,422,716
		(本年度剰余金)	(2,337,280)
合計	28,704,166	合計	28,704,166

平成4年度 貸借対照表

平成5年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	274,159	前受金	4,380,000
郵便振替	22,890		
郵便貯金	10,062,000		
銀行普通預金	4,859,112		
銀行定期預金	13,499,200	奨学金引当金	5,400
未収金	1,782,500	未収金引当金	1,782,500
什器備品	31,500	減価償却引当金	28,350
		剰余金	24,335,111
		(本年度剰余金)	(1,912,395)
合計	30,531,361	合計	30,531,361

平成4年度 運営会計収支決算書

拠出収入 (自平成4年4月1日・至平成5年3月31日)

科目	決算額	予算額	比較増減
終身会費	4,220,000	4,000,000	220,000
受取利息	1,208,510	1,000,000	208,510
雑収入	3,000	5,000	△2,000
収入合計	5,431,510	5,005,000	426,510

運営支出 (自平成4年4月1日・至平成5年3月31日)

科目	決算額	予算額	比較増減
会議費	155,154	300,000	144,846
通信費	887,418	1,000,000	112,582
事務用品費	33,222	50,000	16,778
慶弔費	165,500	150,000	△15,500
同窓会誌	792,000	700,000	△92,000
30周年記念事業	1,000,000	1,000,000	0
印刷費	125,000	300,000	175,000
郵便振替料金	110	10,000	9,890
支部交付金	60,000	150,000	90,000
旅費交通費	19,970	100,000	80,030
名簿管理費	124,917	200,000	75,083
奨学金	150,000	150,000	0
雑費	5,824	50,000	44,176
予備費		845,000	845,000
本年度剰余金	1,912,395		△1,912,395
支出合計	5,431,510	5,005,000	△426,510

平成5年度 運営会計収支予算案

拠出収入 (自平成5年4月1日・至平成6年3月31日)

科目	予算額
終身会費	4,380,000
受取利息	1,000,000
雑収入	5,000
剰余金	3,185,000
収入合計	8,570,000

運営支出 (自平成5年4月1日・至平成6年3月31日)

科目	予算額
会議費	300,000
通信費	1,800,000
事務用品費	50,000
慶弔費	150,000
同窓会だより	200,000
名簿特別会計	5,000,000
印刷費	200,000
郵便振替料金	10,000
支部交付金	60,000
旅費交通費	100,000
名簿管理費	200,000
奨学金	150,000
総会懇談会特別会計	300,000
雑費	50,000
支出合計	8,570,000

監査報告

厳選なる監査の結果、会計帳簿は正確かつ明確に記帳されており、収入支出とも適正で平成3年度、平成4年度収支決算書及び貸借対照表の記載に相違ないことを認めます。

平成5年11月5日

幹事 諏訪部 豊 (E9) 山本 克之 (M17)

平成6年度 運営会計収支予算案

拠出収入 (自平成6年4月1日・至平成7年3月31日)

科 目	予 算 額
終 身 会 費	4,000,000
受 取 利 息	1,000,000
雑 収 入	5,000
収 入 合 計	5,005,000

運営支出 (自平成6年4月1日・至平成7年3月31日)

科 目	予 算 額
会 議 費	300,000
通 信 費	1,000,000
事 務 用 品 費	50,000
慶 弔 費	150,000
同 窓 会 誌	900,000
学 生 援 助 費	100,000
印 刷 費	200,000
郵 便 振 替 料 金	10,000
支 部 交 付 金	60,000
旅 費 交 通 費	100,000
名 簿 管 理 費	200,000
奨 学 金	150,000
雑 費	50,000
予 備 費	1,735,000
支 出 合 計	5,005,000

柳瀬晴海先生を偲んで

沼津高専サッカー部OB会会長 米山邦彦

柳瀬先生。

先生ご逝去の報に接し、ただただ驚くばかりで我が身を疑うばかりでした。お元気にお過ごしのことと信じておりましたのに…。先生のお姿を再び拝見できず、お声も再び拝聴できなくなってしまったことを心から悲しんでおります。

先生は、沼津高専サッカー部創設の時から、大変素晴らしい指導者でいらっしゃいました。先生は、63年に沢田先生とお二人でサッカー部を創設されました。我々は、「勉強で疲れた頭はスポーツでリフレッシュを」を合い言葉に、このサッカー部で精神と身体と技を鍛え青春を大いに楽しむことができました。

高専は5年制という特殊な事情のため、高校の公式

試合に出られませんでした。先生はこうした我々の姿をご覧になり、静岡工業高校時代の人脈をフルにお使いになって、東芝電気や東レなどの社会人チームとの試合ができるように、道を切り開いてくださいました。その結果、沼津高専サッカー部は「東駿河湾社会人リーグ」に加盟でき、先生は我々により大きな活躍の場とより大きな目標を与えてくださいました。試合には、まだ小さかったご息の手を取ってよく観戦にこられました。高専サッカー部の活動が先生の生活の中に完全に溶け込まれている様子を拝見し、ただただ感激するばかりでした。

65年の第3回東海地区高専体育大会からサッカーが種目に取り入れられました。ご指導の結果により、破格の強さでみごと優勝することができ、「沼津高専サッカー部ここに在り」と意気を示されました。その後は全国大会も開催され、何回か出場して全国3位という輝かしい成績を収め、沼津高専サッカー部を全国レベルにまで引き上げられました。

85年に先生が沼津高専を退官されましたので、4月に退官記念のOB会を開催致しました。この時は1期生から18期生の卒業生が母校に集まり、現役と親善試合を行なって親睦を深めました。先生は各年度の卒業生をご覧になって、「これだけのメンバーが揃っていれば全国制覇はたやすいのだが…」とおっしゃいました。先生は全国優勝を狙っていらっしゃったのです。又、卒業生が社会人となっても、何等かの形でサッカーに関係して活躍している様子をお聞きになり、大変満足されていらっしゃいました。

先生、全国優勝の美酒に酔っていただけなかったことが、大変心残りであります。しかし、現役はこの目標に向け、これからも頑張っていくでしょう。先生の築かれた沼津高専サッカー部は、これからも立派に活動していくでしょうし、我々OBも支援して行くつもりです。先生の育てられた沼津高専サッカー部という火は、これからも多くの人に引き継がれ、けっして消えることはありません。天上で、杉山先輩や中村君や真野君とサッカーのお話をし、ボールを蹴ってください。そして、先生が生んで育てたこの沼津高専サッカー部の活躍を見守ってください。

先生、どうぞ安らかにおやすみください。さようなら。

1993年11月25日